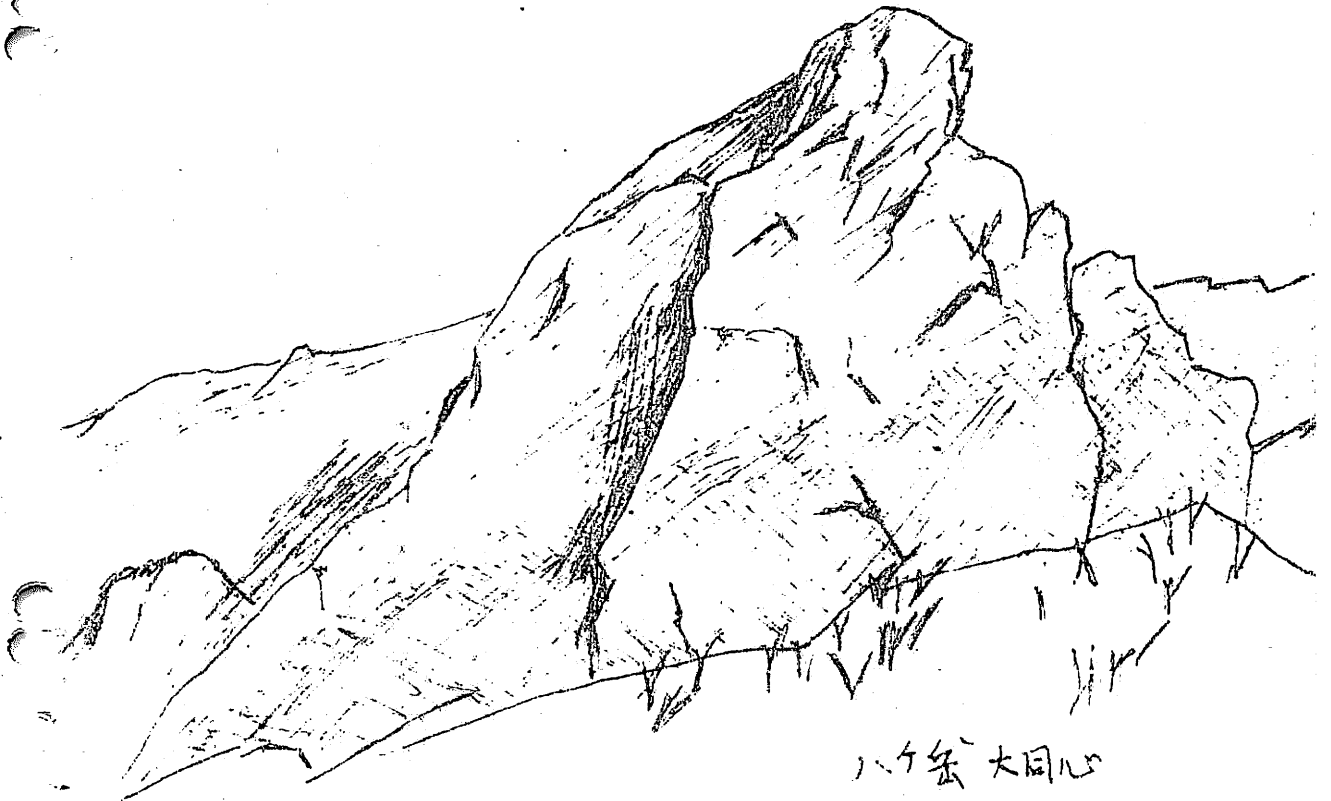


G·Wと春山 山行報告書



八ヶ岳 大同心

信州大学山岳会

18ヶ岳

2/23

- 12:50 ① 美濃戸口
- 13:50 ① 美濃戸山荘
- 17:15 ② 行者小屋 B.C.

山荘直前で、ふんふんが 2日酔いのために吐いた。
18ヶ岳の毎年恒例の行事を今年もこなして
良かった良かった。(F通)

2/24

- 6:35 ① B.C. 発
- 7:50 ① 赤岳山頂
- 10:10 ① 硫黄岳を越えて1つ上り
- 10:30 ① 雪訓開始
- 13:00 ① " 終了
- 14:50 ① 行者小屋 B.C.

今日は、晴れと気持ち良かった。
結局、この日が唯一、晴れた日だ。(F通)

2/25

雪、ホワホワのため沈殿
昼頃、氷くみ隊が赤岳鏡泉へ行く。(F通)

2月26日

朝から悪天候のため、予定を変更して全員で
ジョウゴ沢に向かう。

7:50 B.C 発 カス

9:00 10人の滝

10:30 上部は雪の状況が悪く下降決定

12:15 赤岳 金広せん

2:40 B.C 着

2/27

天候悪く、2Party が 阿弥陀 北稜まで取付
まで行くが、引帰す。

森, 角谷, 加藤, 水谷 (清沢) 安田, 豊田, 小野
中村 (貴) 下山

2/28

Aparty L. 三男, 中村, 作道

角峰リッジ 中央稜

6:30 ① B.C. 発

8:00 ① 取り付

雪が降りて状態が
悪いので左稜に変更。

10:40 ① 赤岳山頂

11:40 ① B.C. 着

やっと1本登山した。101 裏が E。
来年のハケ岳に期待したい。(作道)

ナンバー: L 瀬川 下平

6:35 ① TS

7:30 取っ付き

9:30 終了

10:00 ① 赤岳山頂

40mの4P

雪は硬くヒックルがささらず 夕什ミツクアックスヒレがむすか
い場合もあった。凹角登り右にまわって越えた。

下平

2月28日 C180-ティ- L 飛田 内田 阿弥陀 北後

6:30 B.C 発 ①

7:35 J.P ①

途中からスタート

1P30m, 2P30m, 3P35m

9:35 終了 阿弥陀山頂 ①

11:40 B.C 着 ①

この日はたいへん天気かよくまさにまた登はん日よりで
あったが前日までの新雪でJ.P.では雪崩れそう
でこわかった。

下山

1:50 B.C 発

2:50 美濃戸 美濃戸より車で下山

中央アルプス縦走

メンバー、L 瀬川、中村（貴）、中村（幸）、作道

3/3（火）車で宿舎の手前まで入る。

11:15 発

2P

12:30 葡萄の泉

3P

16:00 T・S 着大樽小屋の少し手前。

雪がぐさぐさでラッセルになり、時間が掛かり非常に疲れた。

3/4（水）7:30 T・S 発 曇り

7:55 大樽小屋 曇り

3P

12:05 西駒が岳 曇り

2P

14:45 T・S 着宝剣山荘の前

稜線に出てからはアイゼンがよく効いた。

3/5（木）夜中に強風のためにテントがつぶれた。朝から視界が悪く風も強かったので沈殿。

3/6（金）今日も夜中にテントがつぶれ、視界が悪かったがエスケープを決定。

15:00 T・S 発

15:30 千畳敷ロープウェイ station

作文 中ア

着いた時から風は強かった。テントをここに張ろう。

いい所は他のパーティーにとられている。おっ。

あの小屋の後にブロックを積んだ所があるんだけど。

決定。1か1. 2かか 張らされた。

その晩 2時にテントはつぶれた。

翌日、予ての予てのため沈殿。昼頃、テントを補強する。

ピッケル、バールを使い、2かど大丈夫と思えた。

1か1. 晩 1時にテントはつぶれた。外張も破れ

バールも継ぎ目が裂け全然ダメ。

テントの張り方には注意しよう。

南アルプス 塩見岳～仙丈岳

3/6～12 L 豊田, 水谷, 飛田, 内田

6日 12:30 ⊙ 鹿塩茶
1:30 塩川小屋
2:50 尾根車道末端 T.S
川に水がなく残念, 10分前は水取可能

7日 6:30 ⊙ T.S 茶
9:40 ⊙ 三伏峠
12:00 ⊙ 本谷山
2:20 権右衛門山手前のコル T.S
三伏峠までトレス有り, くさびし～スネまでのラッセル

8日 6:35 ○ T.S 茶
9:30 塩見岳山頂
11:00 北荒川岳手前
3:00 安倍麓倉岳山頂 T.S
塩見山頂直下(約15m)からスリッパイゼン(ナイフリッチ
みたい)雪びが崩れやすい, 注意

9日 曇りとき雪 視界悪く 沈殿

10日 6:50 T.S 茶
8:00 ⊙ 井川越 森林限界=入るとすべ
12:30 野呂川越 ワカソ着用
2:50 横川岳過ぎのコル T.S

11日 10:50 ⊙ T.S 茶 10:00まで待機
2:05 ⊙ 雪ふきの平
3:00 ⊙ 2676 手前 T.S

12日 6:50 ⊙ T.S 茶
9:00 仙丈岳
10:55 北沢峠
2:55 戸台

南アルプスの思いで

内田健一

南アルプスは私の大変好きな山だ。といつはやたらと広くとてやたらと高く、山と山の間には深い谷が走り、なかなか人を近づけない(近づきたいと思わせない)。あえて登りたいは一気に1000mも登りつめて、そこから縦線に出てホコホコ何日も歩く。春だといつはトレースもなく、踏みはすすし首まではまる。果てしたく長い行程をいたすう歩く。朝はキラリとカッコよかつた塩見糸も比糸もお昼ごろになると体の疲れとともにどろりんしゆがんで見える。あたりに一面は雪の海だ。とりまえず木の葉から下がるつらうをかじりてまたワカンで道をつくる。ぬけよるような紺色の空。ときどき飛行機が長く雲の糸をひきはかりながらまた消えてゆく。まちにまた一本だ。とりまえずと、てあきのポップンと食、てしまえ。ワイ、な人という幸せ。やはり思いきりレシオンはすべてポップンにするべきだった。どうせまた今夜も特製のカネ米トニー。よく毎日あんなもん食べてこんなに長く歩けるものだ。あーあー下界に降りたらジュース1リットル飲みしたいなあ。いやまてどうせ飲むならゼーレビールアイスクリームもおいしう。生協で150円のカレーを食べようかな。いやまてよここはいつリッキーに源太、てものかな? うーむ、とにかく長いな。エスケーゴルトもまたくはないも同じだし、とりまえずまた元気を出して歩くとするか…。やはり私はこんな南アルプスが好きだ。

剣、早月尾根

3月19日～3月23日 member. L 水谷、中村々

19日 松本～上市、伊折より上の除雪されている所まで TAXI

4:00 ◎ 出発

6:00 ◎ 馬場島 T.S

夕刻より雨。

20日 ● 沈でん

21日 6:05 ① 馬場島 T.S

7:10 ① 松尾平

12:10 ① 伝蔵小屋 T.S

※雨でとけた雪がしまつて、朝のうちにはキックステップ。ワカンを着用後は、ひざ下程度のラッセル。まるでゴールデンウィークのような幸せな1日でした。危険な所はまったくなし。

22日 6:00 ① 伝蔵小屋 AC

7:00 ① 2600mのピーク。(まくこびが出来る。)

8:45 ①

9:15 ① } 剣岳山頂

10:30 ① 伝蔵小屋 A.C

12:05 ① A.C 撤収 下山開始

2:40 ◎ 馬場島 T.S

※ 剣まで要所に Fixed Ropes が残置されており、サイルは、2年と4年生 2人だけだったので使用しなかった。但し、下りの2600 Peak で雪崩が出そうだったので 1P コシテとした。雪はしまつており、氷瀑の3級～4級を登ればサイルはいらないだろう。伝蔵小屋からは尻セートで下れる所がある。(いはい)

23日 6:50 ① 馬場島 T.S

9:10 ① 伊折

※ あつというまに下、てしまえる。(発電所まで除雪してある。)

◎ 少雪のため、体力的に苦しいというほどではなかった。4月に入ってからなら、今年と同様楽しい山行が出来るだろう。

攻.

越中、剣は、雪の山!

雪の稜線に出た……。一步一步、進んで頂上についた。空は孤がり、おだやかな気象の中、僕らは剣岳本峰に立ったのだ。

ウスキーグラスを片手に、今思い返しても最高の気分浸れる。ハッ峯が、小窓尾根が、間近に見える。さらに遠くには、後立山、槍、穂まどが眺められる。

「最高だ……。」つぶやきかきもれる。

なーんて、いつになく、正調文学的になってしまった。たけれど、剣に Lucky な事に登れたのは、行の良工と、日頃の精進の賜に違いない!?! 兎にも角にも、剣は総合的な登山の刀を試みるには、文句のつけようのない 1 級山岳である事は間違いない。残雪期 (積雪期なら、なおのこと) の剣に立てば、立派な、不当の「あるびにあと」だぜ。

伝蔵小屋 AC を出発すると、徐々に、Mix っぽい氷結した雪後がつつく。教育者たる水谷さんは、帰りの電車賃を僕からうばった。飛田の下宿のジジイをののしっていた。要所ごとの Fix 部では、軽やかに登っていく。さすが、妙義山などという、訳のわからぬ米衆に、僕をひきまわしただけの事はある。なんといつても、シーラカンス XL250S に乗っているだけあって、カニのハサミがどれか、などという事には目もくれぬ。まごう事なま アルピニストの姿が、そこにはあった。(のかも知れぬい。)

フラットポイント、フロントポイント、それを小馬駆使するこの尾根は神様のプレゼントだ。是非来年も誰かが訪れることを期待する。剣に行くための注意点を次に記す。

1. 馬場島は、小屋の下にテントをはれる。槍がぶらうが、バツリがぶらうが平気だ! 2. 発電所の地下道は、せまいが通れる。ラッセルを省けるのでアプローチによい。しかし、O 君にとっては、ここが核心部である事は、あえて指摘しておく。(閉所恐怖症の人は血を見る。) 3. シーズンをおくらすと、アプローチ、ラッセルは極端に楽。4. 毎年計画を出しておけば (あるいは入山すれば) 登山許可が得易くなる。

越中、剣は、雪の山! 皆んなで登ればヤバくない。

(中村記)

鹿島槍ヶ岳天狗尾根

メンバ、L飛田、下田、豊田、中村(幸)

3/18(水)車で鹿島部落へ、前口よりの雪が道路にうっすらと積もっていたが、大谷原の手前まではいれた。

7:00 鹿島部落 雪

2F

9:30 荒沢出合 曇り

2F

12:00 1700付近 曇り T・S

大谷原から荒沢出合までは河原を歩くのがいいと思う。

3/19(木) 6:30 T・S発 晴れ

2F

8:50 2120付近 曇り

10:15 天狗の鼻 晴れ

2F

12:30 小舎岩 晴れ

14:00 # 上部 曇り T・S

第一クローアル、第二クローアルともさほど問題はなかった。小舎岩は2段に別れていて正面を登ればよい。ピンはあるがあまりきいていない。

3/20(金) 昼頃まで雪

13:00 頃沈殿決定

夕方から晴れるが、風が強くなる。

3/21(土) 6:20 T・S発 快晴

7:10 北峰 快晴

8:00 南峰 快晴

9:05 冷池 快晴

10:30 高千穂平 快晴

12:00 西俣出合 快晴

13:00 大谷原 快晴

天気がよくて最高だったが、赤岩尾根はだるかった。

蓮華温泉skiツアー(4/4・5)

4/4(土) 昼前に白馬大池着、ゴンドラで梅池高原へ。L中村、中村

12:00 梅池高原 快晴

13:00 成城ヒュッテ 快晴

14:30 天狗原 快晴

16:20 蓮華温泉 快晴

指導標が、完備されており全く問題はない。温泉は300円ではいれる。露天風呂からは、朝日、雪倉がよく見える、幕営料は無料。

4/5(日) 雪倉には行かず平岩へ下山する。

“明日に架ける橋” ～鹿島槍 荒沢編～

その日は朝から雪が降っていた。寝ぼけた眼をこすりながら俺は大谷原から荒沢への道を急ぐ。頭の中でアイルスがまだ踊っている。やはり荷物が後部座席まで満載のコーナーの車の中ではあまり睡眠はとれなかつたようだ。

2Pで荒沢出合、雪はやめ、次第に薄日が差し込む。“オ～、夫は我々に味方してくれんのか”これからは、荒沢をすくすく、天狗尾根に取り付く。俺がトップで歩き始めた。この時の順番が明暗を分けたのだ。

積雪はそれほど多くはないが前々日ぐらいの降雪でホコリも多量。初めは右岸を歩いたら、次に左岸、また右岸、2、3回ぐらゐ谷の上の雪を渡って、あつた。目の前には厚い雪のへんてつないうすいすい滑りが“オ、俺様は

お前を待たせていたんだぜー”とは言わないが、牛のように寝そべっていた。俺はほろほろと通り、慎重に渡ろうとしていた。多分大丈夫だろう。それは今まで蓄積してきた経験による判断からであった。左足を踏み出す。後の右足にかかっていた重心を左に移す。さて今度は右足だ。一瞬体にエアポケットが入った飛行機の中、エレベーターで降りる時の最初の瞬間の感覚をおぼえた。“ハかん、ほろろ”左のワカニがなんとなく宙に浮いてる気がする。無意識に右足を大きく踏みだし、ペンチから抜けたそうとした。“ガチョーニ”なんと、右足を雪に踏みしめたという感じはなかった。パニック。俺の頭は目まぐるしく回転した。濡れたらおわりだ。次の動作をどうしようか、よく考えろヒマなどないのだ。野性の本能がよみがえる。まず両手を思いきり、前方の雪面に押し、体の重心もずらす。顔を雪面にうずめながら、両足を交互に抜き出す。あとはホック前進。万事休す。2つの穴の下には雪解け水がゴ～ゴ～と流れていた。

(トビタ)

関東ゲレンデ巡り 下田 哲平

3/4 広沢寺(神奈川) 鍋田吉郎

1/5 日和田(埼玉) (4-ム・ニコニコ)

※若大ハイ。左。右。中。右の各ルート

1/7 四方津(山梨)

※オコスラフ。月中央 峠(スリテシマ(TR)で奥拓)

「愛 = LOVE = が □ を ぎ く 西 北 野 哲 平

ピクピクタイツ。ジャパゆきさん達に見送られながら「信州大学キョル登山隊」は元氣よく出発して行った。エア・ポートはもう春だった。

鍋田家は山手線の外側、環七のそばにある。ママの料理は おふくろの味がする。各岩場まで車で約2時間。たいていなんかない。エキサイティングな道程だ。広沢寺へは中央フリーウェイを利用する。林道を巻いて10分、明るい霧田気でルは8ピート。右スラフ(S.9)を鍋田氏リート。先生はシャドウ part II (S.10a) をフラッシュ。続いてクダラ岩にト、アロープをセッ。ターホール(S.9+)は軽くクリア。その横のイランホール(S.11a)ではじき返された。「アサガにイランはちがうワイ」と呟き休憩する。放心したようにルを見上げる意。そしてふらふらとたちあかり登り始めた。右手の人指し指を浅い穴にかける。左手を一手上げそして「セイヤ」と呟る。その時イランホールは竜先生の足下にひれる。していた。青葉の鈴木(ト)とアロープを替え、こしてジュペター(S.10b)を登る。伊那の象の鼻みだいなマントルだ。ちよるいせ。対岸の岩場。中央フェース(S.10a)と取付く。核ルを越えるのに何歳もスタンスもどる。いっかげん飽きた頃。はじきと体がG1に勝った。しかし上部にも10aがあり、いっ叫ぶ。「テンション！」無情に乳踏かたよ、2中く。必殺A。7177。先生の奥義が出た。月レグドでもシャドウが城ヶ崎だ。ニちらは小川山。右フェース(S.10c)は鈴木氏のヒレでト77アロープ。ルは燃えるがテンションかかってくる。いっかげん痛れた。東大の神決に「死ぬまでパズル解いてる！」とルで語り、2人はせいかに乗って厚木をあとにした。

今回のツアーで開眼した先生は、今一人をびしく上田というところまで Mon Mon してさうな。

G.W 倉宿

5月1日

7:15 三俣 ⊙

9:00 天端決定 ⊙

雪訓 10:00 B.C 発 ⊙

10:50) 雪訓
2:30)

3:05 B.C 着

5月2日 A10-11-12 三野・内田 不帰了峰C尾根

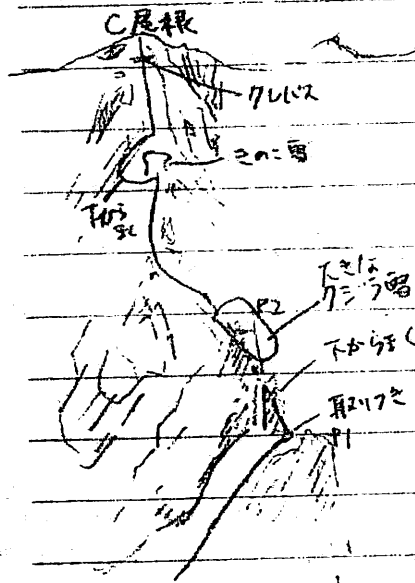
4:40 B.C 発 ⊙

6:00 一本 ⊙

7:00 二峰間ルニセのF 一本 ⊙

8:00 一本

9:00 取り付き 9:40 着



2PK 8P は内田リト

あとはすべて三野リト

1:20 終了 ⊙

1:30 ルニセのF ⊙

1:45 フル発

3:20 B.C 着

G.W. 合宿

夕

B パーティ

L. 飛田, 作道, 下田

下峰 2 峰 北峰 ルンゼ, 本沢 ルンゼ, 正通 壁 中央 ルンゼ

4:45 O B.C. 発

7:45 O 取り付き

フックは 降, 凍, 31, ルンゼの中は
ひびきに 雪崩 しているので 断念。

D 沢を つめる ことに する。

10:35 O 後線

14:40 O 後線 発

15:10 O B.C. 着

崖は なくて 残念 だが, あんなに 雪崩 していたら
いかた ない だろう。

雪崩 して ヤ, ぱり 恐, 々な 矣。
(作道)

C party 甲南ルンゼ, L, 豊田, 中村 (幸)

4:50 ベ ス 発 快晴

7:00 1・2 峰間ルンゼ 取り付き 快晴

他の party と 別れる。

7:50 甲南ルンゼ 取付 ㊦

8:45 ルンゼを 抜ける。 ㊦

ザイルを 付けて 雪壁を スタカット 4 ピッチ, 尾根を コンテ と スタカ
交えて 登る。

11:30 終了 ㊦

12:00 発 ㊦

12:35 D ルンゼの コル

雪の 状態が よく アイゼンを 使わずに いった。

5/2.

○ D party 不帰Ⅲ峰 B尾根

Member L 瀬川、小野、中村カシ

- 4:50 ① T.S
- 5:40 ① 不働沢、唐松沢出合い
- 6:40 ① I、II峰間ルンゼ出合い
- 7:45 ① bルンゼ
- 8:00 ① 取付

↓ 4P

- 12:00 ① 才2岩峰手前 Escape 決定
- 2:00 ① cルンゼ下降、dlルンゼ出合)1人可い2P
- 3:15 ① T.S 帰着

* bルンゼ cルンゼ 共 死ぬ程 雪崩が落ちていて
 びびった。いつ c尾根の 白鯨 が落ちくるか、気が
 気ではなかった。惜しむらくは、c尾根を イハア
 こと 安田が 登って いた 事 である。

5/3

雨で 沈殿

下田エムカ 帰ら小2、水谷エムカ 登り
 来ら小2。

(作道)

5月4日 B・C・D - ティー - L 豊田 内田 杓子 A 尾根

5:00 B・C 発 ①

6:00 ビバーク地テポ (大左衛門滝) ①

8:00 取り付き

ルートは大糸どうり

1:40 終了 杓子山頂 ②

2:00 山頂発 ②

5:20 ビバークサイト着 ②

5/4

杓子D尾根

メンバー: L 三野 下平

B・C から他のパーティーと共にビバーク予定地へ

6:25 ① ビバークサイト出発

7:35 セルバン着

8:40 D尾根取り付き

8:50 登攀開始

10:00 中止決定

11:30 ① 取り付きまで下る

13:15 ② 杓子山頂

後、他のパーティーを待ってビバークサイトへ下る

~~雪はガラガラ、木々でひさまでまぐる。40.40.30mの所で
ルンゼの下まで登、右が落石かひといたので中止決定。その後双子
尾根とA尾根の間の尾根を登り杓子山頂へ。セルバンは不用。終始三野
さんがTopでした。すいません。~~

5/4

C party

L. 中村工, 作道

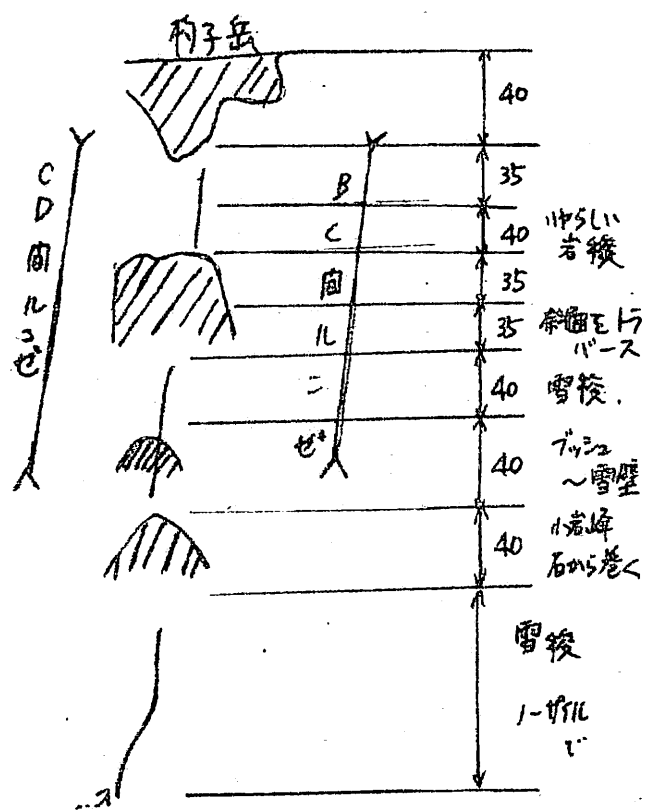
		杓子	A 尾根
5=00	○		B.C. 滝
6=10	○		滝の上, 下可
8=40	○		取り付
13=35	◎		杓子 頂上
14=45	◎		頂上 滝
17=20	◎		滝の上 (ビバ-5ヶ所) 着

A尾根は とも 気持 良かった。
 雪後 も 楽い も の 存 在 だ。
 (E 着)

5/4 D party

杓子 C 尾根

L. 水谷, 中村(置), 飛田



5=00	◎	BC
6=20		六ヶ門, 滝
8=20		C 尾根 取り付
14=20		終了, 杓子 頂上 ~ 滝まで 自由で下山 ~
17=00	◎	六ヶ門, 滝 上部 台地上 BP.

* 雪は 固く (滑り), 結構 登り
 やかった。
 上部は 風が 強く, ほど 寒かった。
 上部 岩壁は 直登は 不可能 だが
 下部の 小岩峰は, 11=15 と思えば OK
 (トビ)

CD 固ルニセ 取り付く.

5/4

E110-71- 杓子岳B尾根

Member) La 末田(OB) 守田

4:45 BC巻 ①

6:10 大滝上台地 B.P.
荷物干渉

8:45 取付 ①

↓ 1-サイル 約60m

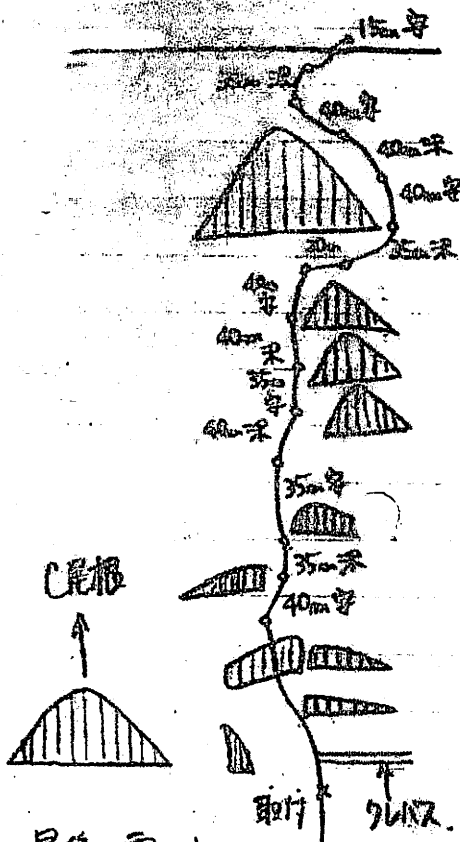
9:05 サイルを7173 ②

↓ 14P

14:20 終了 ② 強風
末田さん先=B.C.F.下。

錯覚下降

17:00 B.P ② → ③



雪が多くて沢の岩場を歩くのが大変。最後の雪は
4mほどで、スコップをもち、211.10が果てにこぼれた。(守田)

5/4

F110-71- 杓子岳C尾根

Member La 小野 瀬川

4:45 T.S巻 ①

6:45 大滝上 B.P

9:10 取付

2900 10P

12:45 終了

13:50 杓子岳 Peak. A尾根110-71-と合流 ② 瀬川

D10-11-1 杓張 A尾根

Member L 水谷 安田

5:10 大滝上 B.P. 発

8:00 A尾根取付

B尾根10-11 / B10-11-1 飛田 小野

C10-11-1 中村(中) 瀬川

も天候悪化のため A尾根に変更

8:10 下降決定

雪止りの風が強く 視界が悪い

8:20 下降開始

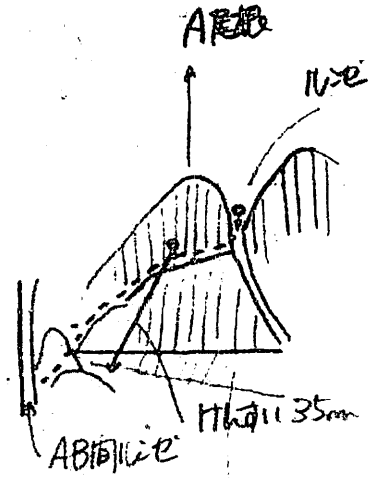
8:40 取付310-11 集合

1:00 B.P. 取付

B, C 10-11-1 釜沢で雪割中の A10-11-1 合流

水谷 安田は BC へもどり下山

エールツウィークでも天候がひどいと冬山はあきらめようという
私たちに教訓を残して登攀をした。(安田)



5

雪割隊 L 三野 豊田 中村(中) 内田 作道 下平

5:25 ① ヒバークサイト

6:05 小日和山

7:00 ② 釜沢の温泉の下方の斜面で雪割

7:30 古賢さん合流

11:15 登攀隊合流 雪割終了

釜沢温泉に行き 風呂に入る者有り

13:00 ③ ヒバークサイト

14:20 B.C

撤収下山決定

15:40 ④ B.C 出発

17:00 二股

その後タケにて白馬駅へ

寒いヒバークの朝。雪割 温泉 下山といろいろあった旧友たち。
エールツウィーク合宿も あつというまに終わったよな気がする。

下平

不帰峰と尾根を登って 内田健一

その時オレは巨大な雪でできたもう学校の校舎ほどもあるクジラの真下^マにいた。きつの上からはひきりなほにホウホウ木がしたたり反対側からは太陽光線がじりじりとクジラを攻めていることがわかる。こいつが落ちたらまず助からない。その時は本当に神にいのしか術がなかつた。ガガガ、ケケッ、せいの腹の一部がぬきはがれて右の方を落ちていく。うーむ。えい「内田も登ってこい。まてこい。三野さん、コールだ」としてオレはクジラにつぶされず^クにすんだのだった。

しかし、尾根にはまだまだいろいろな物がオレたちの行く手をはばんでいた。その1は巨大な雪キノコであった。その雪キノコには先行パーティーの兄ちゃんにより、羊田状の道がつけられていた。しかし三野さんは「俺のトレスは通りたくない」とオレに言い残して左のまったく垂直と思われ^る雪壁をトラバースして行くではないか。うーむ。オレはまたうなづいてしまった。しかし「いつか思ったほどもには身をわくなく無事に通過できた。そしてオレたちはと尾根の頭にやとこたどりついた！と思わせておいてどうはと人屋がおろさな^らいのだ。ここいらへんがと尾根のズゴ^リ所なのだ。その時もう稜線はすぐそこに見えていた。あとは雪壁をちよと登るだけと見てかければクレバスが大口をきいてまぢくまえていたのであった。三野さんはさすがの腕前で通過したかオレはあさりといつにはまってしまった。「ズキッ」という音とともにふわりと体が中に浮き、オレは底なしの暗いクレバスの中で宙ぶらりんの人となってしまう。あの時は確保の支点がハイマツであって本当によかつた。おかげでなんともかまた明るい地上にはいれ^たことができた。おしまい

ヒバークの夜

の日の夕方杓子のD尾根が登れず意気消沈してヒバークサイトへ
-る。雪面を整地しツェルトを張るころには雨が降り出した。僕は
自に打たれながら「この雨はD尾根が登れず悲しみに沈む僕の心
のさ」と思った。

ツェルトに入りEssenに取りかかる。三野さんはメタリックカーが無いため
石を拾って来てメタを燃している。いくらでも方法はあるものだと感じ
した。お茶ブリアを食べ紅茶を飲んでいる時も、バックと体の左側
に張り付いたツェルトから雨が滲み込んてくる。体が冷えてきた。寒い。
そそくさと寝る準備にとりかかる。パンツをはきセーター、帽子、ダブルジャケットを
着込む。ダブルジャケットははく。羽生、ニューテックスのテントシューズを
着てこなかは失敗だった。せまい空間に三野さんと二人で横にな
れたが寒くてなかなか寝れない。それでもいつの間にかうとうと寝入っ
てしまっていた。

夜中お茶の寒さと空腹のために目が覚める。腹がグーグー鳴いている。
おいかわらずツェルトは顔にはりつき雨の滴が口元をつたわる。「この雨の
滴は空腹に嘆く僕のよたれなのさ」と思った。

by 下平

奥志賀へ 竜王山スキーツアー

メンバー：L 中村(貴)、豊田、下平

竜王山スキー場まで車で入山し、タクシーで奥志賀スキー場へ

① ② ジョントラで焼額山まで登る。

10:00 ① 焼額山 ジョントラ駅

道標に導かれ奥志賀内のツアーコースに加わります。

12:30 奥志賀 ジョントラ駅

13:00 焼額山 ジョントラ駅

15:00 竜王山

17:00 のさき

18:00 ② 竜王スキー場

1層コースを誤ったため、雪が深くすべれなかったこと、そして
私(下平)のスキーの技術がなかったことにより、やたらと時間がか
かってしまいました。やはりスキーはむずかしいです。

記：下平

八ヶ岳 大同心大滝

メンバー: L 角谷 加藤 安田 下平

1/24

- 10:35 ◎ 美濃河口
- 11:25 ① 美濃戸山荘
- 13:20 ◎ 赤岳鉱泉 設営
- 13:50 鉱泉出発
- 14:35 大同心大滝 取り付き 開始

おかんを持って行かず まもまのラッセルにましをさける

15:35 終了

17:00 TS

大滝の下部15m位を角谷さんがリードし右岸のテラスでビレイする。

1人1回ずつ登った。

1/25

- 7:50 ◎ TS
- 8:35 ◎ 取り付き
- 14:15 ① 終了
- 14:50 TS 撤収
- 16:45 美濃戸山荘
- 17:35 美濃河口

角谷さんが昨日のビレイ点までリードし、上部20mをリードしよるとい
が、4カ所アイスに苦みられリードを断念。角谷安田で滝の左
岸をスタックカットで巻く。角谷さんは、ビレイ口にくわえて魚を焼いた。
その後、Top D-7°でトライし、後、下山する。

記。下平

1987年度 G-W, 春山山行
報告書

信州大学 山岳会

印刷・発行 長野・%